

人間関係論

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分 相澤 文恵 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
担当教員	相澤 文恵 准教授		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

人間関係は人間としての存在に備わる基本的条件の一つである。「どうすれば好ましい人間関係を築くことができるか。」人はその方法を日々模索し、人間関係を良好に保つためにコミュニケーションを続ける努力をしている。人間関係の基本は「自分自身を知る」ことである。一般的に、人は他者に照合することによって自分自身を認識する。また、人は他者の存在によって自分の社会的役割を認識する。他者との関係で構築された人間関係は様々な社会的相互作用の原因となり、また結果ともなる。

人が人に対して行う援助活動では、常にその関係性が基盤に置かれることになる。保健医療の現場では、専門職が職務をスムーズに遂行する基盤として良好な人間関係を構築することが不可欠である。また、対象者とどのような人間関係を構築できるかが援助の質を左右することにつながる。医療の質や倫理が問われている今、医療人として人間関係のあり方やその特徴を理解しておくことは重要な学習課題である。

良好な人間関係を構築するための基礎を修得することを期待する。

・教育成果（アウトカム）

人間関係に関する基礎知識を理解し、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、医療人としての職務を遂行する際に良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。

・到達目標（SBO）

1. 自己概念を理解する。
2. 対人認知に関わる要因を説明できる。
3. 社会的相互関係について説明できる。
4. コミュニケーションの構成要素と過程を説明できる。
5. 集団意志決定について説明できる。

【講義室】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	人間関係とは 人間関係の成り立ちについて理解する。
4/23	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	自己意識 自己意識を豊かにする方法を理解する。
4/30	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	対人認知(1) 印象形成に関わる要因について理解する。
5/7	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	対人認知(2) 対人認知の歪みに関わる要因について理解する。
5/14	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	対人認知(3) 対人魅力に関わる要因について理解する。
5/21	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	アイデンティティ 個人的アイデンティティと社会的アイデンティティについて理解する。
5/28	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	コミュニケーション(1) コミュニケーションの構成要素と過程について理解する。
6/4	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	コミュニケーション(2) 自分の話し方、聞き方の傾向について理解する。
6/11	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	コミュニケーション(3) Computer-mediated communication におけるコミュニケーションの正確性について理解する。
6/18	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	集団の中の人間(1) 集団規範について理解する。
6/25	木	1	人間科学科 心理学・行	相澤 文恵 准教授	集団の中の人間(2) リーダーシップについて理解す

			動科学分野		る。
7/2	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	集団の中の人間(3) 集団意志決定について理解する。
7/9	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	チーム医療における人間関係 チーム医療における医療従事者間の人間関係を理解する。
7/16	木	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	まとめ これまでの講義で得た知識と経験をもとに、自らの学生生活における良好な人間関係の構築について考える。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	カラー版徹底図解 社会心理学	山岸俊男監修	新星出版社	2011
推	健康の謎を解く ストレス対処と健康保持のメカニズム	アーロン・アントノフスキー著	有信堂	2008

・成績評価方法

定期試験（70％）と提出物（30％）で評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示